

「自動車関連技術講演会」開催のご案内

産総研コンソーシアム「名古屋工業技術協会」では、下記の要領にて講演会を開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成21年1月16日（金）14：00～17：30

場所：名古屋ダイヤビル2号館7階 272会議室（名古屋市中村区名駅3-15-1）

定員：60名

参加：無料。協会会員以外の方でも自由に参加できます。

次頁申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

講演会スケジュール：

- 14:00～15:00 「冷間成形性に優れた新マグネシウム合金圧延材の開発」

千野 靖正（産総研 サステナブルマテリアル研究部門）

要旨：本発表では、アルミニウム合金なみの冷間成形性を示す新マグネシウム合金圧延材の紹介を行う。新マグネシウム合金は、マグネシウム - 亜鉛系合金に微量の希土類元素（セリウム等）を添加したもので、熱間圧延により作製される。新マグネシウム合金は汎用マグネシウム合金(AZ31合金)と大きく異なる集合組織を形成するため、アルミニウム合金なみの常温成形性（エリクセン値9.0）を示す。

- 15:00～15:15 - 休憩 -

- 15:15～16:15 「車載センシングシステムへのメタマテリアル応用」

佐藤 和夫（株式会社 豊田中央研究所）

要旨：メタマテリアルは、自然界にない優れた特性を示す人工的に作られた材料である。特に、負の誘電率と透磁率を有する左手系材料が注目されている。最近の研究では、メタマテリアルの構造設計技術や、マイクロ波・ミリ波・光の領域におけるデバイスへの応用研究も進められ、将来の自動車エレクトロニクス技術への応用が期待される。ミリ波レーダ用アンテナ、超小形アンテナ、および光センシングデバイスへの応用について紹介する。

- 16:15～17:15 「燃料電池基礎研究へのチャレンジ

- 燃料電池自動車の本格的普及に向けて - 」

長谷川 弘（産総研 固体高分子形燃料電池先端基盤研究センター）

要旨：燃料電池自動車は、「環境問題対応」、「エネルギーセキュリティ」、「経済の持続的発展」を同時に満足させることから将来に亘って必須の技術と言える。燃料電池自動車の本格的普及に向けての課題は、低コスト化・高耐久性確保であり、産業界を初めとして研究開発が盛んに進められているが、革新的な改良には基礎研究に基づいた技術開発が不可欠である。本講演では、課題の掘り下げと、国内外の基礎研究に関する動向を解説する。

- 17:15～17:30 - 総合討論 -

*終了後に、各自実費負担にて交流会を計画しています。

【お問合せ】

産総研コンソーシアム「名古屋工業技術協会」事務局
（名古屋駅前イノベーションハブ内）

TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai@m.aist.go.jp

「自動車関連技術講演会」 参加申込書 FAX:052-583-6462

勤務先	会社(団体)名			
	住所 〒 - -			
	TEL: - -			
	参加者氏名	部署	役職	E-mail
1				
2				
3				

本申込書に記載される個人情報は産総研コンソーシアム「名古屋工業技術協会」講演会の連絡のみに利用させていただきます。

(会場案内図)

名古屋ダイヤビル2号館 TEL: 052-565-5158
(名古屋駅桜通口徒歩3分)

